

授業だより No. 3

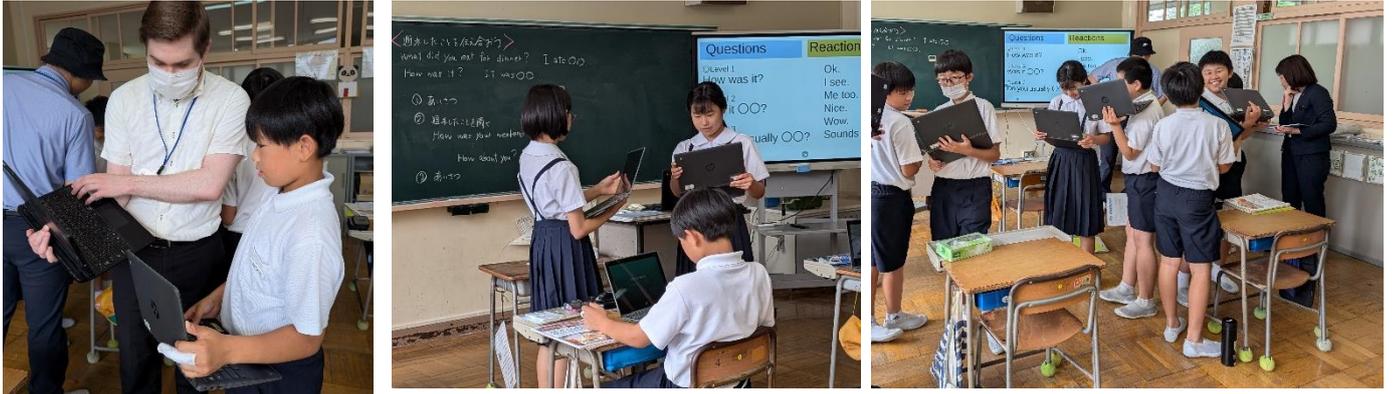
押水第一小学校

令和6年 7月 1日

6年研究授業 外国語「My Weekend」 (授業者 石田)

7月1日(月)に6年外国語「My Weekend」の研究授業を行いました。授業後には、授業整理会、中能登教育事務所の鷹合指導主事からの指導助言がありました。

【授業の様子】



【指導助言～鷹合指導主事より～】

本物のコミュニケーションのために

- ・子ども達が話したくなるような場面の設定を工夫する必要がある。今回の授業の課題は、「週末したことを伝え合おう」であった。ALTが知りたがっている、や、宝達志水町の三校が統合することを考慮し、ほかの学校の児童に伝えよう、といった子ども達が燃えるような場面を作り出す必要がある。
- ・子ども達の気持ちを受け止めるとよい。例えば、今日の気分を聞いた際に、いつもと違う反応を示す児童がいた場合には、「Why?」と聞いてあげる。その受け答えを積み重ねていくことにより、会話の表現を広げていく。
- ・ふり返りの際に、子ども達の「こんな表現できたらいいな」をとりあげ、表現の幅を広げる。

発話量を増やすために

- ・話すことによって、こんないい事やこんな返しをしてくれるといった、話したくなるような仕掛けを考える必要がある。最後に子ども達が自分の思いを伝えられてよかったと思える活動にすることで、英語で会話することの達成感を味合わせる。
- ・活動中に、中間評価の時間をとることで、ねらいの到達へ向かわせる。個に戻って考えを深められるように、声掛けやアシストをする。その後の活動では、声の大きさも上がり、より活発になる。
- ・限定した言い方だけを取り上げるのではなく、いろいろな伝え方があることを共有する必要がある。例えば、「おいしい」という表現は、「delicious」という単語しか使ってはいけないと考える児童がいた。様々な言い方を伝えることによって、様々な英語表現を身に付けることができる。